

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第 1 2 期通常総会資料

(1) 法人の概要

(2) 議事資料

第 1 号議案「第 12 期事業報告及び収支決算に関する事項」

第 2 号議案「第 13 期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第 3 号議案「役員の変更に関する事項」

(3) 報告事項

日 時： 2016 年 5 月 13 日（金） 13:30～

場 所： 中央大学駿河台記念館 285 号室



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
 東京 : 2007年6月26日
 京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
 兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 吉田治典
副理事長 赤司泰義、柳原隆司、山羽 基
理事 市川 徹、大森一郎、岡 敦郎、鯉淵 正、須山喜美、熊谷 雅彦、高瀬知章、吉田新一
監事 高草 智、高橋直樹

会員数 (2016年3月31日現在)

個人正会員 199名 (内 特別会員4名)
賛助会員 36団体 (内 大学 5校)

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、広報活動、会員増強等
- ・資格委員会：資格制度検討、資格講習会運営、資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査・先導的コミッショニング事業受託
- ・技術委員会：技術支援、コミッショニングプロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2016年3月31日現在)

財団法人

建築技術教育普及センター、ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、アレフネット、エネゲート、エム・ティー・ディー、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、三機工業、三建設備工業、三晃空調、
ジェイアール東日本ビルテック、新日本空調、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、中部電力、東京ガス、東邦ガス、
日建設計総合研究所、日本設計、日本ファシリティ・ソリューション、三菱地所設計、三菱重工業

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学

【2】議事資料

第1号議案「第12期事業報告及び収支決算に関する事項」
事業報告(2015年4月1日から2016年3月31日まで)

1. 事業の成果

コミッショニングを社会に定着させるために不可欠な資格制度・登録制度の推進に関して、性能検証技術者(以下CxPEと表記)の資格研修会を名古屋で実施し、昨年度、新たに10名の性能検証技術者の認証・登録と、資格要件を満たさないため、今後要件を満足すれば登録できるとした1名の候補者を認証した。これでCxPEの総計は71人となった。また、性能検証専門技術者(以下CxTEと表記)の講習を11月に大阪と東京において開催し、会員外の受講者も含めて、合計55名(大阪29名、東京26名)の講習受講があった。該当者にはCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録制度には、現在52名の登録がなされている。昨年5月に開始したコミッショニングを業務として実施する組織(CxF: Commissioning Firm)の登録制度には現在9社が登録している。

コミッショニングの普及・広報活動に関しては、CxFの登録制度立ちあげを記念して、2016年2月に関西で、同3月には札幌(空気調和・衛生工学会との共催)と東京でシンポジウムを開催した。各シンポジウムでは、当協会が直接、間接に関与した特色のあるコミッショニングの事例紹介を中心に事例を紹介し、CxFの発展を祈念すると共に、CxFの必要性、あり方、将来性、課題などについて討議した。2015年9月には空気調和・衛生工学会近畿大会(大阪大学)の展示ブースへの出展を行い、当協会会員や関連学協会会員・一般市民を対象として、コミッショニングプロセスおよびコミッショニング技術の普及広報活動を実施した。また、日本建築学会主催のシンポジウム1件を後援した。空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会では、学会活動と連携してコミッショニング技術の整備に貢献した。技術委員会では地中蓄熱利用促進協会と連携して、地中蓄熱システムのコミッショニングについて研究・開発活動を行った。

一昨年から取り組んでいる本協会発行の建築設備性能検証マニュアルの改訂作業では昨年度改訂WGを4回開催してほぼ本編を脱稿し、本年度秋の刊行を目指して作業中である。

コミッショニング事業関連業務としては、京都駅ビルの熱源改修の施工フェーズに関する業務を受託し遂行中である。なお本事業は、国土交通省第2回住宅・建築物省CO2先導事業に採択されている。沖縄科学技術大学院大学の空調設備システムに関する既存ビルコミッショニング事業を先導的コミッショニングとして受託し、本年度の本格的な調査業務の予備段階としてウォークスルー調査を実施した。また、本協会が受託したヨンデンビル新館のコミッショニングを活用した継続的な省エネルギー・負荷平準化への取り組みでは、季節間土壌蓄熱空調システム等を採用した事務所ビルとして第15回空気調和・衛生工学会特別賞「十年賞」を受賞した。

会員への情報伝達に関しては、例年通りニュースレターを月1回発行した。ホームページを活用して積極的に情報発信するため、その機能や構成を充実し、2016年2月には日英ブログと称する英語と日本併記の情報発信ページを開設した。昨年に引き続き、コミッショニングの国際的な状況を会員に情報提供するため、全米コミッショニング会議(NCBC)の会議の内容や様子取材してニュースレターに掲載した。

当協会の基盤拡充と社会活動充実のため賛助会員の増加に努め、新規の個人会員は31名増加、賛助会員には新たに4企業(エネゲート、エム・ティー・ディー、日建設計総合研究所、高砂熱学工業)が加わった。

当協会の主たる事務所は名古屋市から大阪市に移転し、2015年7月から正式に稼働しはじめた。それに伴い、大阪に事務局WGを設置して事務局体制の整備をおこない事務処理を順次マニュアル化し事務作業の基盤整備と合理化を継続して進めている。

2. 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）		
						収入	支出	
(1) 人材育成事業	(1) セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業					3,201,000	2,754,533	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。							
	a)	CxPE 資格研修会	2015/10/23 ～10/25	中部大学名古屋キャンパス	10名			11名
	b)	CxTE 講習（大阪）	2015/11/13	堂島リバーフォーラム	8名			29名
		CxTE 講習（東京）	2015/11/27	東京ガス 本社ビル	7名			26名
	c)	総会付帯講演会	2015/5/15	中央大学駿河台記念館	10名			41名
	d)	Cx 事例シンポジウム	2015/4/2	名古屋大学	10名			63名
			2016/2/19	エルおおさか	10名			79名
			2016/3/4	札幌市立大学サテライトキャンパス	10名			43名
			2016/3/11	中央大学駿河台記念館	10名			98名
	e)	マニュアル（pdf）の頒布	2015/4 ～2016/3	BSCA 事務所	3名			5名
	f)	技術交流会	2015/5/15	中央大学駿河台記念館	10名			36名
		Cxに関心を持つ者の集い	2014/9/17	大阪府大阪市	5名			37名
g)	資格・認証関連委員会	2015/4 ～2016/3	BSCA 事務所他	10名	—			
h)	空気調和・衛生工学会大会ワークショップ	2015/9/17	大阪大学	15名	50名			
(2) 性能検証普及事業	(2) 会誌・ホームページ等による性能検証普及事業					0	1,356,291	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。							
	a)	ホームページの整備充実	2015/4 ～2016/3	事務局	4名			約1000名
	b)	コミショニングレターの発行	2015/4 ～2016/3	事務局	30名			約180名
	c)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2015/9/16 ～9/18	大阪大学	10名			約100名
d)	企画・運営委員会及び広報活動	2015/4 ～2016/3	BSCA 事務所他	24名	—			

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）		
						収入	支出	
(3) 調査研究・技術支援事業	(3) 性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	0	313,453	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援を行う。公共的機関より性能検証、コミッショニング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。							
	a)	海外調査 ・NCBC2015	2015/5 ～2015/9	米国	17名			会員、市民、建築関係者、不特定
b)	技術委員会	2015/4 ～2016/3	東京大学	5名	建築関係者			
(4) 基準制定・検証事業	(4) 性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	28,199,880	20,601,943	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。							
	a)	大規模熱源改修の施工フェーズにおける性能検証業務	2015/1 ～2016/6	BSCA 事務所、京都駅ビル他				14名
	b)	沖縄科学技術大学院大学研究棟・センター棟の空調設備システム等評価業務	2016/3	沖縄科学技術大学院大学				5名
	c)	マニュアル改訂委員会	2015/4 ～2016/3	東京				16名
	d)	事業委員会活動	2015/4 ～2016/3	BSCA 事務所他				12名

(2) その他の事業（営利事業）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）	
						収入	支出
(1) 会誌・ホームページ等への広告掲載	会誌やホームページへの広告の募集を企画	2015/4/1～ 2016/3/31	事務局	2名	会員、市民、建築関係者、不特定	0	0
(2) 出版事業	出版物の発刊を企画	2015/4/1～ 2016/3/31	事務局	1名	会員、市民、建築関係者、不特定	0	0

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会の実施

2009年より開始しているCxPEの資格認証を引き続き実施し、「コミッショニング技術者CxPE資格研修会」（受講者11名）を2015年10月23日～25日、名古屋にて開催して、新たに10名の認証資格者を登録した。2016年4月において、CxPE登録者は総計71名である。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（大阪、東京）

2015年度で4回目となる講習会を、11月に大阪（受講者29名）、東京（受講者：26名）で開催し、合計55名にCxTE講習の修了証を授与した。講師は、昨年度と同様に大阪講習会は関西在住の委員が、東京講習会は関東在住の委員が講師となり経費の削減を図った。また、2015年度に新たにCxTE登録された会員は22名（昨年度末比73%増）、累計で52名と急増した。CxTE登録制度開始から3年で業界に浸透し始めていると思われる。

c) 総会付帯行事を兼ねた講演会（2015年5月 東京）

中央大学駿河台記念館において、通常総会を開催するとともに講演会を実施した（参加者47名）。講演では、(公社)空気調和・衛生工学会会長井上隆氏（東京理科大学教授）に「建築外皮性能と実効性ある環境負荷低減」、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備環境課村山雄介氏に「LCMについて」と題してご講演頂いた。なお講演資料は、会員のみでの公開とし、当協会ホームページに掲載した。

d) シンポジウムの開催

1) Cx事例紹介シンポジウム（in 関西・in 東京）

2015年4月から新たにコミッショニング事業者(CxF:Cx Firm)登録制度を開始した（現在、8社が登録）。当協会は、コミッショニング業務が独立した事業として社会に受け入れられることを目指し、CxPE資格者またはCxTE登録者が携わったCx実施事例を発表してもらうシンポジウムを開催した。関西では、2016年2月19日にエル・おおさかで行い、参加者は79名であった。東京では2016年3月11日に中央大学駿河台記念館にて行い、参加者は98名であった。

2) Cx普及のためのCxF登録制度についてのシンポジウム in 北海道

関西、東京、中部以外の地域にもコミッショニングを普及させるため、一昨年実施したCxF登録制度立上げ記念シンポジウムを札幌で開催した。シンポジウムでは、当協会の関係者が関与したコミッショニングプロジェクトや、当協会自身が先導的プロジェクトとして実施したコミッショニングプロジェクトを題材に、建物オーナーとコミッショニング事業者という両面の立場から、その目的、意義、課題などについて発表してもらった。開催日は、2016年3月14日、場所は札幌市立大学サテライトキャンパス、参加者は43名であった。本シンポジウムは(公社)空気調和・衛生工学会北海道支部と共催し、シンポジウムの付帯事業として、北海道科学大学の建築・熱源設備システムの見学会も行った。

e) コミッショニングマニュアルの頒布

2011年度より市販を開始した「建築設備性能検証マニュアル」は、2014年度在庫切れになったため、2015年度はPDF ファイルを5部、無料で頒布した。

f) 交流事業

総会に引き続き、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した（参加者50名）。来賓の井上空気調和・衛生工学会会長の乾杯や中原名誉会長の挨拶の他、吉田理事が2015年度新たに登録されたCxPE8名のうち当日参加の4名へ登録証書を授与し、新CxPEからは各自の抱負表明等も行われ、終始和やかに会員間で情報交流や交歓が図られた。

空気調和・衛生工学会大会の第二日目（9月17日）夕方、恒例の「コミッショニングに関心を持つものの集い」を曾根崎の「本陣（お初天神）」にて開催した。14回を迎える今回、61名の参加者の下、コミッショニングの昨今や将来が語られると共に、大いに参加者の情報交換や懇親が図られた。

（2）性能検証普及事業

a) ホームページの整備充実

2014年度にホームページの全面改訂をし、2015年度からは、常に最新の情報にするためにホームページ製作会社と年間保守契約を結び、年2回の部分改訂・Cx事例の追加に加え、サイバー攻撃等のトラブルがあった場合の相談対応などをしてもらうことにした。2015年度は、部分改訂などの軽微な変更を2回、BSCAが受託した京都駅ビル、ヨンデンビル、長崎県庁、NTTファシリティーズ新大橋ビルの各新築ビルのコミッショニング4事例のホームページ記事追加を保守業務の範囲で行った。

また、年間保守とは別の予算を立て、当協会の活動を国際的に発信するため日本語と英語で並列表記した広報ブログ（日英ブログ）のページを開設し、ハワイの会員の方の投稿記事「設計フェーズのコミッショニング」（原文は英語）と当協会が受託した京都駅ビル、ヨンデンビル、長崎県庁の新築ビルのコミッショニング事業3事例のプロジェクト報告を掲載した。ハワイの会員の方の投稿記事の日本語訳は、赤司副理事長の研究室の学生に、プロジェクト3事例の報告の英語訳は、米国在住のBSCA会員に委託した。

さらに、Cxツールをダウンロードできるライブラリーページを改良・充実し、SHASE コミッショニング委員会・データマネジメント手法検討小委員会で作成した「共通書式変換ツール」も新規にアップした。

b) コミッショニングレターの発行

コミッショニングレターは、主に会員に対する積極的な情報提供を目的として月1回の発行を継続した。昨年度も、毎月1日に計12回の発行を行った。CxPEよりの自由投稿も継続中（29報）である。第23回NCBC報告テキサスA&M大学 増田弘子氏など、コミッショニングに関わる有益な情報も会員に提供した。CxPE第1号でもあり、長年にわたり、当誌へ投稿とご協力を頂いた松縄氏の逝去にあたり、中原名誉会長の『偲び草：松縄 堅君を偲ぶ』を掲載した。

c) **空気調和・衛生工学会大会ブース出展**

2015年9月の空気調和・衛生工学会大阪大会における展示会で、例年どおり、本協会の概要・活動の紹介を最新情報に更新したタペストリーを展示した。このタペストリーは、CxTE講習会などでも活用した。

(3) **調査研究及び技術支援事業**

社会啓発活動の一環としてのコミッショニング過程に関する調査研究受託は、昨年度全てが終了し新規の受託事業はなくなった。

a) **海外調査**

国際会議参加者からの情報収集活動を支援するとともに、全米コミッショニング会議 (NCBC) のレポートをコミッショニングレターに掲載し、会員への情報提供を実施した。

(4) **基準の制定及び検証事業**

2015年度は、継続事業である「建築設備性能検証マニュアル」の改訂を基準制定事業として実施した。また、既存建物の熱源大改修1件、ならびに、空調システムの省エネルギー改修のコミッショニング事業を1件、それぞれを先導的な検証事業として受託し、これらの実践を通して得られるコミッショニングに関わる課題を抽出すると共に、ノウハウを蓄積し公開することによって、社会貢献・社会還元することを目指した。

a) **建築設備性能検証マニュアルの改訂**

コミッショニングにおける体制や技術が著しく進化しているため、国内外の動向や技術に対応したマニュアルの改訂が必要と判断して2014年1月に作業を開始した。2015年度は、このマニュアル改訂WGを4回開催した。新訂のマニュアルは、2016年秋の発行を予定している。

b) **大規模熱源改修の施工フェーズにおける性能検証業務**

- ・委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・事業実施：2015年1月～2016年6月
- ・担当者：吉田治典、柳原隆司、赤司泰義、下田吉之、杉浦修史、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、中森彰、青山昌博、松下直幹、中村政治、西山満、坂本和彦

本プロジェクトは、2009年から続く先導的コミッショニングプロジェクトの施工段階の業務である。このコミッショニング過程は、施工が始まり竣工するまでの「施工フェーズ」(第一期間)、引渡し終了後一年間の「機能性能確認フェーズ」(第二期間)、機能性能確認フェーズ終了後、さらに2年間に亘る「適正化フェーズ」の3つのフェーズに細分化される。本プロジェクトは、このうちの「施工フェーズ」の受託である。施工フェーズでは、施工が設計主旨文書や設計図で記載された通りの性能を発揮していることを特記仕様書(性能検証)に則って確認することと、設計変更やVEに対する適切なアドバイスを行うことが主な業務である。2015年度は、VE案、機器・システム仕様書、BEMS・自動制御システムの性能検証レビューと施工期間中に行う機能性能試験の計画・要領の検討を行った。2015年度末3月から機能性能試験が本格化している。また、2016年6月の竣工引渡し後の一年間の「機能性能確認フェーズ」、さらにその後の2年間に亘る「適正化フェーズ」の実施は、継続事業として予定されている。なお、本事業は、適正化フェーズまで含めて国土交通省の住宅・建築物省CO2先導事業の補助金対象物件である。

c) 大学施設 空調設備システム評価業務

- ・委託機関：沖縄科学技術大学院大学
- ・事業実施：2016年3月
- ・担当者：吉田治典、柳原隆司、岡 敦郎、西山満、松下直幹

来年度から実施を予定している既存設備のコミッショニング業務の前に、現地のウォークスルー調査と既存ビル省エネルギー改修のコミッショニング業務の進めかた・範囲について協議を行った。

4. 委員会活動

(1) 企画・運営委員会

a) 広報活動

1) レター広報WG

- ・コミッショニングレターは、主に会員に対する積極的な情報提供を目的として月1回の発行を継続した。昨年度も、毎月1日に計12回の発行を行った。

2) HP 広報WG

- ・ホームページを最新の状態に維持にすることと、トラブル時の対応要請を行えるように保守契約を行った。
- ・当協会の活動を国際的に発信するため、日本語と英語で並列表記した広報ブログ（日英ブログ）を開設した。
- ・Cx ツールを任意にホームページにアップできるように、ツールライブラリのページの改良を行った。

b) 経済産業省との Cx に関する懇談

- ・経済産業省からの要請により、Cx 情報提供・意見交換を行うWGを3回実施した。来年度も継続して、定期的に会議を行うことが決まった。

c) コミッショニング事業者 (CxF) 登録制度の創設

- ・コミッショニング業務を受託できる適切な組織について情報が欲しいという要望に応えるため、2015年4月から、コミッショニング事業者 (CxF、FはFirmの意味) 登録制度を開始した。2016年3月現在、設計事務所、エネルギー会社、サブコン、自動制御ベンダ、ESCO 事業者など8社が登録している。

d) 会員獲得活動

- ・個人会員数の増強に努めた。31名の新規入会者があり会員数は195名となった。2013年度から開始した性能検証専門技術者 (CxTE) の自主登録制度は、会員であることが登録の条件となっており、この制度への登録も会員獲得の一つの要因となっている。
- ・各種団体にコミッショニングの意義を理解して貰うよう賛助会員の獲得に努め、積極的に広報活動を展開した。賛助会員については4社 (エネゲート、エム・ティー・ディー、日建設計総合研究所、高砂熱学工業) の入会があった。

e) 講習会・セミナー事業

- ・ 2015年9月16～18日(金)に大阪大学で開催された空気調和・衛生工学会大会において「普及段階に向かうコミッショニングを取り巻く国内外の状況と今後の方向性」と題してワークショップを開催した。また、大会期間中の技術展示会へ例年通りにパネルを展示して、協会の活動内容などを報告した。
- ・ 2016年2月19日に、大阪(エル・おおさか)にて、「Cx事例シンポジウム in 関西」を開催し、79名の参加者(定員:80名)を得た。今回のシンポジウムの発表事例は、当協会の講習会でCxを学び、Cxプロセスを正しく理解されているCxPE資格者、CxTE登録者が携わったプロジェクトに限定して行い、参加者にCxプロセスの理解を深めてもらった。
- ・ 2016年3月4日に、札幌で開催された「CxF(コミッショニング業務受託事業者)登録制度の創設とCxビジネスの展開」というシンポジウムを空気調和・衛生工学会北海道支部と共催し、講師を派遣した。
- ・ 2016年3月11日に中央大学駿河台記念館にて、「Cx事例シンポジウム in 東京」を開催し、98名(定員:80名)の参加者を得た。「虎ノ門ヒルズ森タワー」等、5件の事例をオーナー、設計者、運用者の各々の立場から発表した。

(2) 資格・認証関連委員会

a) 資格・認証関連委員会

- ・ CxPE資格研修小委員会を2015年11月に開催し、2015年度の研修内容の報告を行うとともに、今後の研修の方向性について意見を交わした。
- ・ 2016年3月に外部委員を交えた資格認定委員会を開催し、2015年度のCxPEの資格認定を行った。
- ・ 外部委員と内部委員との間で認定制度の改変やPEの資格要件の拡大変更について討議を行い、CxPE試験方法、合否判定、資格登録のための既往資格対象の拡大などの変更と整備について諮り、下記の原案を承諾した。
 1. 現在の資格認定委員会を資格判定委員会と改称する。資格判定委員会ではCxPE研修の試験結果に基づいて合否判定を行う。
 2. CxPE登録は会員に限定する。登録は毎年更新し、CxPEのCx業務経歴情報と共にホームページで公開する。
 3. CxPE登録のための資格要件に、博士学位、一級建築士、電気主任技術者(3種以上)、一級計装士を加える。
 4. CxTEの登録技術者で実務経験が5年以上で、かつ3件以上のCxプロジェクトに参画していれば、これを資格要件の一つと見なす。
 5. 上記の改訂は、過去のCxPE試験合格者にも遡及適用する。

b) CxPE資格研修小委員会

- ・ 2015年10月23～25日にCxPE研修会(名古屋)を実施した。実施に当たり、資格研修小委員会のメンバーが体制や研修内容を決定し資料の作成を行なった。

- ・研修会終了後は、速やかに試験成績判定会議とともに資格研修小委員会を開催し、採点並びに試験の合否判定を行なった。
- ・合否判定の結果 10 名を合格とした。なお、受講者の 1 名は、試験には合格したが、規定の資格要件が不足しているため CxPE 登録者にはなっていない。

d) CxTE 登録講習小委員会

- ・大阪と東京にて第 4 回目となる性能検証専門技術者 (CxTE) の講習を実施し、大阪講習会では 29 名、東京講習会では 26 名の受講者を得た。
- ・CxTE 登録制度の、新たな登録者は 22 名と急増した (前年度末の登録者数 30 名)。

(3) 事業委員会

- ・昨年度、委員会活動はしていない。
- ・各種の先導的コミッションング業務の受託をし、それらの活動成果やノウハウを、コミッションングに関わる人材育成や実務資料の集成に役立てた。

(4) 技術委員会

- ・空気調和・衛生工学会のコミッションング委員会で開発したコミッションングツールを維持・管理 (当協会ホームページ内に一般公開) するとともに、先端的な建築設備システムのコミッションングの方法論を具体化し、コミッションングの普及展開につなげた。
- ・昨年度は、NPO 法人地中熱利用促進協会と共に地中熱利用システムの機能性能試験法開発ワーキングを 5 回開催し、IKEA 福岡新宮における地中熱利用空調システムを事例に取り上げながら、地中熱利用システムの設計要件書と機能性能試験仕様書について検討した。
- ・2016 年 3 月に開催された NPO 法人地中熱利用促進協会主催の第 2 回地中熱利用シンポジウムを協賛し、そのシンポジウムにおいて地中熱利用システムのコミッションングに関する発表を行った。

(5) 事務局WG

- ・事務局WGでは、事務作業の基盤整備・合理化を目的に、各処理作業について順次マニュアル化した。具体的には、総会開催手順、理事会開催手順、マイナンバー運用手順、データ共有サーバとメーリングリストの再整理、会計処理方法、税務処理方法などについて検討した。

(6) 委員会開催記録

委員会	理事会	事業委員会	資格関連委員会	技術委員会	企画運営委員会	事務局 WG
開催日	第1回 4/6 第2回 12/10 第3回 3/15	Cx 国際動向調査 ・米国： 5/19、20 Cx 普及活動	資格検討委員会 資格研修小委員会 11/12 資格認定委員会 3/28	第1回：11/10 第2回：12/25 第3回：2/21	[企画運営委員会] 第1回：4/6 第2回：6/9 第3回：9/29 第4回：12/10 第5回：3/15 [マニュアル改訂 WG] 第5回：6/5・6 第6回：7/31・8/1 第7回：11/6・7 第8回：1/15・16 [シンポジウム] CxF シンポジウム ・中部 4/2 札幌 3/4 Cx 事例シンポジウム ・関西：2/19 ・東京：3/11	第1回：4/23 第2回：8/5 第3回：9/14 第4回：10/27 第5回：1/26 第6回：3/10
回数	3回	6回	2回	3回	13回 (企画運営：5回) (マニュアルWG：4回) (シンポジウム：4回)	6回

5. 会計収支決算

2015年度 活動計算書

建築設備コミッションング協会

2015年4月1日から2016年3月31日まで

重要な会計

(単位：円)

科目	2015年度決算		2015年度 予算			備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他の事業	増減額	
I 経常収益						
1 受取会費						
入会金収入	160,000		100,000	0	60,000	
正会員受取会費	1,878,000		1,860,000	0	18,000	
賛助会員受取会費	5,500,000		5,500,000	0	0	
小計	7,538,000		7,460,000	0	78,000	
2 受取寄附金						
受取寄附金	0		0	0	0	
小計	0		0	0	0	
3 受取助成金等						
受取民間助成金	0		0	0	0	
小計	0		0	0	0	
4 事業収益						
1. 人材育成事業						
CxPE研修会	720,000		560,000	0	160,000	
CxTE研修会(東京)	423,000		532,500	0	-109,500	
CxTE研修会(大阪)	511,000		510,000	0	1,000	
CxFシンポジウム(名古屋)	161,000		160,000	0	1,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	404,000		990,000	0	-586,000	予算時は関西、東京を一括計上
Cx事例シンポジウム(東京)	552,000		0	0	552,000	
技術交流会	140,000		200,000	0	-60,000	
Cx 集い	290,000		200,000	0	90,000	
	3,201,000		3,152,500	0	48,500	
2. 普及事業	0		0	0	0	
3. 研究・支援事業	0		0	0	0	
4. 基準制定事業						
京都駅ビルCx事業	27,201,960		25,187,000	0	2,014,960	
沖縄科技大Cx事業	997,920		0	0	997,920	
	28,199,880		25,187,000	0	3,012,880	
5. その他	0		0	300,000	-300,000	
小計	31,400,880		28,339,500	300,000	2,761,380	
5 その他収益						
受取利息	3,904		5,000	0	-1,096	
雑収益	80		10,000	0	-9,920	
小計	3,984		15,000	0	-11,016	
経常収益計	38,942,864		35,814,500	300,000	3,128,364	

重要な方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法：定率法によっております。

(2) 消費税等の処理方法

税込経理によっております。

科目	2015年決算		2015年度 予算			備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他の事業	増減額	
II 経常費用						
1 事業費						
1. 人材育成事業						
CxPE研修会	658,566		680,220	0	-21,654	
CxTE研修会(東京)	208,368		305,000	0	-96,632	
CxTE研修会(大阪)	226,739		400,000	0	-173,261	
CxFシンポジウム(名古屋)	172,982		172,820	0	162	
Cx事例シンポジウム(関西)	378,332		855,160	0	-476,828	予算時は関西、東京
Cx事例シンポジウム(東京)	403,256		0	0	403,256	を一括計上
総会付帯講演会	119,862		40,000	0	79,862	
技術交流会	182,480		200,000	0	-17,520	
Cx 集い	267,560		200,000	0	67,560	
資格・認証関連委員会	136,388		200,000	0	-63,612	
小計	2,754,533		3,053,200	0	-298,667	
2. 普及事業						
ホームページ	880,896		380,000	0	500,896	日英ブログ追加、ライブ配信強化
コミッションングレターの発行	214,663		200,000	0	14,663	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	202,500		80,000	0	122,500	
CxF登録制度小委員会	0		200,000	0	-200,000	
企画・運営委員会及び広報担当	58,232		754,320	0	-696,088	プロジェクト購入項目変更
小計	1,356,291		1,614,320	0	-258,029	
3. 研究・支援事業						
海外調査	201,137		182,800	0	18,337	
技術委員会	112,316		200,000	0	-87,684	
小計	313,453		382,800	0	-69,347	
4. 基準制定事業						
京都駅ビルCx事業	19,355,763		21,800,000	0	-2,444,237	
沖縄科技大Cx事業	892,360		0	0	892,360	
事業委員会	0		50,000	0	-50,000	
マニュアル改訂	353,820		3,000,000	0	-2,646,180	
小計	20,601,943		24,850,000	0	-4,248,057	
5. その他	0		0	150,000	-150,000	
事業費計	25,026,220		29,900,320	150,000	24,876,220	
2 管理費						
法定福利費	-14,812		0	0	-14,812	
旅費交通費	203,812		180,000	0	23,812	
通信運搬費	200,281		150,000	0	50,281	
消耗品費	92,665		150,000	0	-57,335	
消耗什器備品	240,945		150,000	0	90,945	PC減、プロジェクト増
会議費	51,800		66,960	0	-15,160	
印刷製本費	117,457		25,000	0	92,457	
租税公課	381,647		440,000	0	-58,353	
諸謝金	0		0	0	0	
委託費	0		0	0	0	
支払手数料	62,208		70,000	0	-7,792	
雑費	0		0	0	0	
接待交際費	0		0	0	0	
光熱水料費	0		0	0	0	
諸会費	86,136		0	0	86,136	
家賃	907,580		712,800	0	194,780	
修繕費	0		0	0	0	
予備費	0		0	0	0	
支払報酬	195,219		388,800	0	-193,581	
事務外注費	4,913,949		5,508,000	0	-594,051	
減価償却費	516,032		100,000	0	416,032	
管理費計	7,954,919		7,941,560	0	13,359	
経常費用計	32,981,139		37,841,880	150,000	-4,860,741	
当期経常増減額	5,961,725		-2,027,380	150,000	7,989,105	
III 経常外収益						
1 固定資産売却益	0		0	0	0	
経常外収益計	0		0	0	0	
IV 経常外費用						
1 過年度損益修正損	0		0	0	0	
2 固定資産除却損	24,931		0	0	24,931	
経常外費用計	24,931		0	0	24,931	
税引前当期正味財産増減額	5,936,794		-2,027,380	150,000	7,964,174	
法人税、住民税及び事業税	68,500		71,000	0	-2,500	
当期正味財産増減額	5,868,294		-2,098,380	0	7,966,674	
前期繰越正味財産額	29,486,707		29,485,706	1,001	1,001	
次期繰越正味財産額	35,355,001		27,458,326	1,001	7,896,675	

2015年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2016年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	38,108,630		
売掛金／未収金	0		
棚卸資産	0		
貯蔵品	0		
前払費用	227,880		
未収入金	997,920		
仮払金	0		
流動資産合計		39,334,430	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	211,880		
有形固定資産計	211,880		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア等	1,216,608		
無形固定資産計	1,216,608		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		1,608,488	
資産合計			40,942,918
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	5,415,520		
前受会費	40,000		
預り金			
源泉所得税預り金	132,397		
仮受金	0		
流動負債合計		5,587,917	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,587,917
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		29,486,707	
税引後当期正味財産増減額		5,868,294	
正味財産合計			35,355,001
負債及び正味財産合計			40,942,918

2015年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2016年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三菱東京UFJ銀行普通預金	1,683		
三菱東京UFJ銀行普通預金	28,017,537		
ゆうちょ銀行普通預金	1,194,316		
三井住友銀行	4,158,098		
池田泉州銀行	4,736,996	38,108,630	
未収金			
受託事業 売掛金	0		
未収入金	997,920		
貯蔵品	0		
棚卸資産			
販売用図書	0		
前払費用	227,880		
仮払金	0		
流動資産合計		39,334,430	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	211,880		パソコン2台
有形固定資産計	211,880		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェアなど	1,216,608		ホームページ
無形固定資産計	1,216,608		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		1,608,488	
資産合計		40,942,918	
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,415,520		
前受会費	40,000		
預り金	0		
源泉所得税預り金	132,397		
仮受金	0		
流動負債合計		5,587,917	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計		5,587,917	
正味財産		35,355,001	

6. 監査報告

2015年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動計算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2016年4月14日

監 事

高草 智

高橋 直樹

第2号議案「第13期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2016年度事業計画(案) (2016年4月1日から2017年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

2016年度は、下記の活動を行い、社会に対してコミッショニングの意義を更に広め、かつ賛助会員組織にはコミッショニング事業を受託することを推進するための情報提供を通じて支援する。

企画・運営委員会は、当協会に関わる種々の課題を議論し、各課題のビジョンや方針が具体化した時点で担当委員会に課題を委譲する役目を果たすとともに、総会開催、事務処理の合理化などを掌握し、収支バランスを勘案しながら当協会の運営の要となる活動を行う。本年は、事務の基盤整備に注力し、事務局がより効率的に機能するよう作業のマニュアル化を徹底すると共に、クラウドサーバーを利用した委員間の情報伝達の効率化も推進する。

事業委員会は、積極的に民間会社・官庁・大学などのビルオーナーにコミッショニングの有効性を説明する機会を得てその実践を勧めるほか、設計者団体、施工者団体などと懇談しコミッショニングがどのようにすればより進展するかについて意見交換する。また、国や自治体に働きかけてコミッショニングが施策に取り入れられよう働きかける。更に、先導的なコミッショニング事業を当協会が受託し、その有効性を様々な手法で社会に広めながら、課題の抽出、新奇技術の開発に努めて社会に還元する。

資格・登録関連の関連委員会では、CxPE 認定のための公開研修会の開催は定常化(年一回)し軌道に乗っており、また、CxTE 登録のための講習も東京・大阪における毎年の開催がそれぞれの地域で独立に開催できるようになり軌道に乗りつつある。そこで、今年度はCxPE 研修を大阪で開催し、その企画・運用・講師派遣が、将来、関西で独自に開催できるような素地固めにも繋げる。またLEED・APなど、海外の資格制度の調査を行い、当協会として対応すべき資格のあり方についても検討する。

技術委員会は、主として空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と連携し、その成果を当協会に反映すると共に、新たなコミッショニング適用対象システムである、再生可能エネルギー設備(当面は地中熱利用)などのコミッショニングについて調査・研究する。コミッショニングツールのホームページによるダウンロード事業は、新たなツールを充実するよう努める。

広報担当は、例年通り、会員サービスと社会啓発のため、ホームページ、ニュースレターを充実すると共に、本年度より日英ブログとして公開した国際発信のページを徐々に増やし、今まで以上に国際的な視点で本会の活動について広報を図る。

種々の運営ならびに交流活動を、支部活動的に東京、関西、中部で独自に実施することは昨年度から実施している。本年度はこれを更に進め、コミッショニング活動の輪をこれら3極で協力して広め、日本全体の、また国際的な、情報発信と交流を図る。また、昨年度、札幌で空気調和衛生工学会と共催で盛況にシンポジウムを実施できたことから、3極以外の地域へも本協会の活動を広めるべく、福岡、高松など、既に会員の核のある都市でのシンポジウムを企画する。

2. 事業実施計画に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）			
						収入	支出		
(1) 人材育成事業	(1) セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	2,867,500	2,833,000		
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。								
	a)	CxPE 資格研修会	2016/12	大阪				10名	10名
	b)	CxTE 講習（大阪）	2016/10/14	堂島リバーフォーラム				10名	30名
		CxTE 講習（東京）	2016/12	東京ガス				10名	40名
	c)	総会付帯講演会	2016/5/13	中央大学駿河台記念館				10名	60名
	d)	Cx 事例シンポジウム	2016/12	東京				10名	80名
			2017/2	大阪				10名	80名
			2016/8, 10, 2017/1	名古屋				10名	15名
	e)	マニュアル（pdf含む）の頒布	2016/4～2017/3	BSCA 事務所				3名	30名
f)	技術交流会	2016/5/13	中央大学駿河台記念館	10名	60名				
	Cxに関心を持つ者の集い	2016/9/15	鹿児島	5名	40名				
g)	認証検討委員会 資格認定委員会等	2016/4～2017/3	BSCA 事務所他	10名	—				
(2) 性能検証普及事業	(2) 会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	0	1,940,000		
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。								
	a)	ホームページの整備充実	2016/4～2017/3	事務局				4名	約1000名
	b)	コミッションングレターの発行	2016/4～2017/3	事務局				30名	約170名
	c)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2016/9/14～9/15	鹿児島大学				5名	約100名
d)	企画・運営委員会及び広報活動	2016/4～2017/3	BSCA 事務所他	23名	—				

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）		
						収入	支出	
(3) 調査研究・技術支援事業	(3) 性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	0	382,800	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援を行った。公共的機関より性能検証、コミッションング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。							
	a)	海外調査 ・NCBC2016 他	2016/5 ～2016/9	BSCA 事務所他	1名			会員、市民、建築関係者、不特定
b)	技術委員会	2016/4 ～2017/3	東京大学	5名	建築関係者			
(4) 基準制定・検証事業	(4) 性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	35,847,120	33,641,000	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。							
	a)	大規模熱源改修の施工フェーズにおける性能検証業務（施工フェーズ）	2016/4 ～2016/6	BSCA 事務所、京都駅ビル他				14名
	b)	大規模熱源改修の施工フェーズにおける性能検証業務（機能性能確認フェーズ）	2016/7 ～2017/3	BSCA 事務所、京都駅ビル他				14名
	c)	沖縄科学技術大学院大学研究棟・センター棟の空調設備システム等評価業務	2016/4 ～2017/3	沖縄科学技術大学院大学				5名
	d)	事業委員会活動	2016/4 ～2017/3	東京				12名
e)	マニュアル改訂	2016/4 ～2017/3	東京	16名				

(2) その他の事業（営利事業）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）	
						収入	支出
(1) 会誌・ホームページ等への広告掲載	会誌やホームページへの広告の募集を企画	2016/4/1～ 2017/3/31	事務局	2名	会員、市民、建築関係者、不特定	100,000	50,000
(2) 出版事業	出版物の発刊を企画	2016/4/1～ 2017/3/31	事務局	1名	会員、市民、建築関係者、不特定	200,000	100,000

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE 資格研修会の実施

- ・ 12月16日、17日に性能検証技術者(CxPE)の資格研修会を大阪にて開催する。
- ・ テキストは、今年度からマニュアル改訂版を使用し、講習の合理性を考慮して2日間開催とする。
(以上、CxPE 資格研修小委員会/資格委員会担当)

b) 講習会・セミナー事業

- ・ 第5回目となるCxTE講習を大阪と東京で開催する。これまでは、第1回(2012年度)の時に作成した資料や演習課題を継続して使用してきたが、今回は、4回実施した講習会の経験を踏まえ、一部コンテンツを刷新し、より有効な講習会となるように改善を行う。
- ・ CxPE資格者、CxTE登録者が行ったCx事例を紹介するCx事例紹介シンポジウムを3支部(東京・関西・中部)独自の内容で開催する。

c) 資格制度の検討

- ・ 以下の課題に関して各種の検討を行う。
 - 1) コミッショニング関連資格を社会へ広めるための情報発信
 - 2) 米国のCx関連資格とCxPEの相互認証の可能性調査
(以上、資格検討委員会担当)

(2) 性能検証普及事業

a) 広報及び会員獲得活動

- ・ 個人会員数の増強に努める。CxTE講習修了者には、登録してもらえるように積極的に働きかける。
- ・ ホームページやCx事業の事例発表のシンポジウムなどでCx登録制度を広く紹介し、賛助会員を増やしてCxの登録を働きかける。
- ・ 企業・大学の賛助会員の獲得に努めるため、各種団体にコミッショニングの意義を理解して貰うようさらに積極的な広報活動と個別説明を展開する。
- ・ 会員向けの月1回のコミッショニングレターの発行以外に、一般閲覧者の獲得を目指し、より迅速に情報発信ができるようなブログ形式の発信ツールの構築を行うなど、ホームページの更なる整備を行う。
- ・ ホームページの日英ブログの投稿記事や英語版のCx事例を増やし、海外の会員を獲得する。
- ・ ツールライブラリを拡充し、会員特典を検討する。
- ・ 昨年度に引き続き交流事業を実施し、コミッショニングに関わる関連諸団体との意見交換や調査・研究活動などを行い当協会の活動を社会に広める。
- ・ 公共部門や民間の建築オーナーに、省エネルギー・省CO₂事業にコミッショニングプロセスが有効であることを広報しながら、省エネルギー・省CO₂事業の施策や方策の策定や運用のアドバイスを通して積極的にコミッショニングの促進活動を行う。

(以上、企画・運営委員会担当)

b) コミッショニング事業の認証制度の検討

- ・ CxF 登録者のフォローアップのために、CxF が実施したコミッショニング事業を当協会として認証することを検討する。
(認証検討委員会担当)

(3) 調査研究及び技術支援事業

- ・ 空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会に、新たに設定される小委員会の技術課題に対して、協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。
- ・ 各種公共団体からの受託或いは自主事業として、コミッショニングに関する調査・研究を進める。
(以上、技術委員会担当)
- ・ コミッショニングに関する調査・研究事業の受託をめざす。
- ・ 国及び地方行政庁よりコミッショニングの政策課題に関連する調査・実証研究などの受託を目指す活動を展開する。
- ・ 他国のコミッショニング組織 (NIST、PECI、BCA、APCBC など)、とのコミッショニングに関する研究機関、推進組織、事業者団体との連携活動を推進する。
- ・ 経済産業省からの要請による助成制度検討のための Cx に関する意見交換WGを開催する。
(以上、企画・運営委員会担当)
- ・ 昨年度に引き続き、国際会議参加者や海外在住者からの情報収集活動を支援するとともに、全米コミッショニング会議 (NCBC) 等のレポートをコミッショニングレターに掲載し会員への情報提供を推進する。
(広報担当)

(4) 基準の制定及び検証事業

a) CxTE 登録制度の運用

- ・ 既に始動している CxTE の登録制度を CxF 登録制度と連携して、活性化させる。
(資格認定委員会担当)

b) コミッショニング (検証) 事業の受託

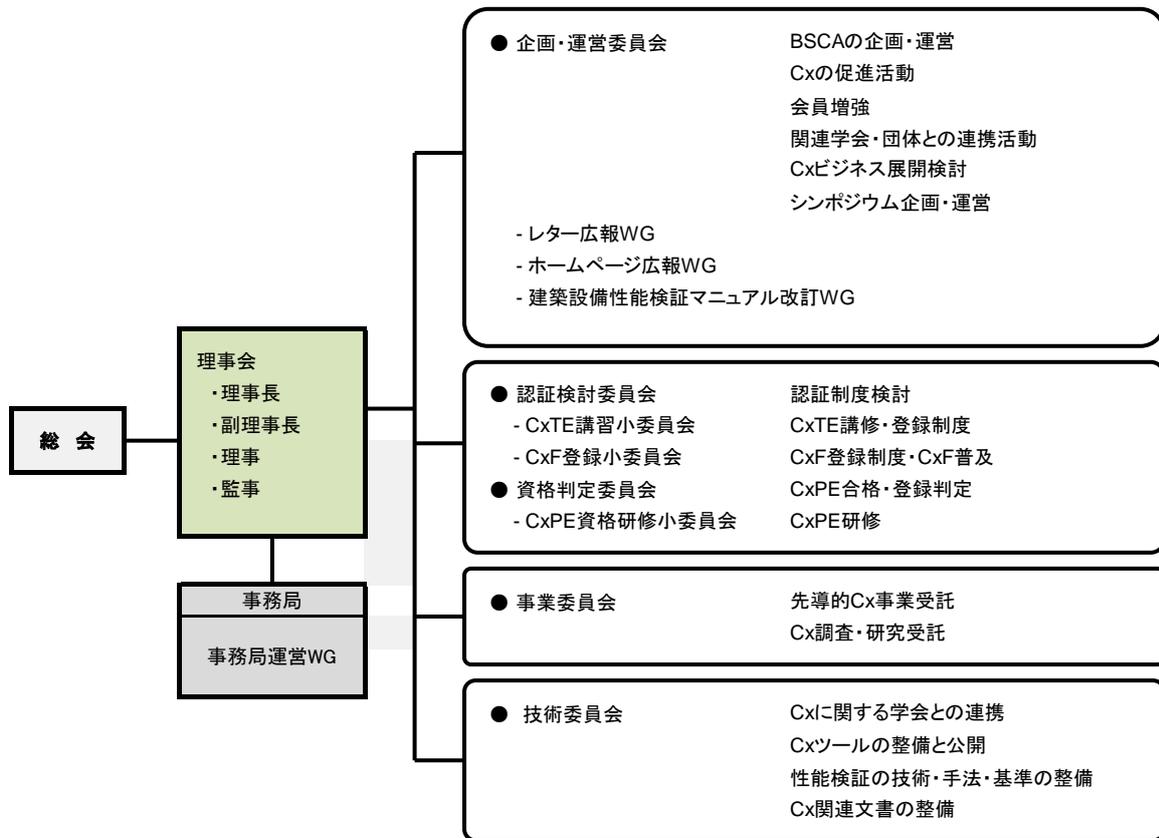
- ・ 各種の先導的コミッショニング業務の受託、並びに調査研究委託業務を引き続き実施し、それらの活動成果やノウハウをコミッショニングに関わる人材育成や実務資料の集成に役立たせるための知的資産とする。
- ・ 上記の先導的コミッショニング受託業務に CxPE や CxTE の参画を募り、人材育成支援に資する。
- ・ コミッショニング業務のビジネス展開を推進するため、LEED のコミッショニングや米国型のコミッショニングなども視野にいれて、業務のあり方・技術者の活用方法・技術者への報酬のあり方などについて、引き続き検討する。
- ・ 新たなコミッショニング関連業務の開発に努力する。
(以上、事業委員会担当)

c) コミッショニング基準の制定

建築設備コミッショニング協会で販売している「建築設備性能検証マニュアル」は発行後10年の年月が経ち、用語やプロセスそのものの見直しが必要となった。既に協会内にてマニュアル改訂委員会を発足し、これまで8回の委員会を開催し議論を展開している。新マニュアルの発刊は2016年秋頃を目標に検討中である。

(マニュアル改訂ワーキンググループ担当)

[組織図]



2016年度 活動予算

2016年度 活動予算書

建築設備コミッションング協会

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位：円)

科目	2015年度 予算		2016年度 予算			備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他の事業	増減額	
I 経常収益						
1 受取会費						
入会金収入	100,000	0	100,000	0	0	20名
正会員受取会費	1,860,000	0	2,150,000	0	290,000	195名+新規20名
賛助会員受取会費	5,500,000	0	6,000,000	0	500,000	A26, B6+新規A1社
小計	7,460,000	0	8,250,000	0	790,000	
2 受取寄附金						
受取寄附金	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	
3 受取助成金等						
受取民間助成金	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	
4 事業収益						
1. 人材育成事業						
CxPE研修会	560,000	0	500,000	0	-60,000	
CxTE研修会(東京)	532,500	0	532,500	0	0	
CxTE研修会(大阪)	510,000	0	510,000	0	0	
CxFシンポジウム(名古屋)	160,000	0	0	0	-160,000	
Cx事例シンポジウム	990,000	0	0	0	-990,000	
Cx事例シンポジウム(東京)			380,000	0	380,000	
Cx事例シンポジウム(関西)			380,000	0	380,000	
Cx事例シンポジウム(中部)			15,000	0	15,000	
マニュアルの頒布			200,000	0	200,000	
技術交流会	200,000	0	150,000	0	-50,000	
Cx 集い	200,000	0	200,000	0	0	
	3,152,500	0	2,867,500	0	-285,000	
2. 普及事業	0	0	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	0	0	
4. 基準制定事業						
京都駅ビルCx事業(施工)	25,187,000		6,686,320	0	-18,500,680	
京都駅ビルCx事業 (機能性能試験)			23,160,800	0	23,160,800	
沖縄科学技術大学院大学			6,000,000	0	6,000,000	
	25,187,000		35,847,120	0	10,660,120	
5. その他	0	300,000	0	300,000	0	
小計	28,339,500	300,000	38,714,620	300,000	10,375,120	
5 その他収益						
受取利息	5,000	0	5,000	0	0	
雑収益	10,000	0	10,000	0	0	
小計	15,000	0	15,000	0	0	
経常収益計	35,814,500	300,000	46,979,620	300,000	11,165,120	

科目	2015年度 予算		2016年度 予算			備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他の事業	増減額	
II 経常費用						
1 事業費						
1. 人材育成事業						
CxPE研修会	680,220		630,000	0	-50,220	
CxTE研修会(東京)	305,000		305,000	0	0	
CxTE研修会(大阪)	400,000		420,000	0	20,000	
CxFシンポジウム(名古屋)	172,820		0	0	-172,820	
Cx事例シンポジウム	855,160		0	0	-855,160	
Cx事例シンポジウム(東京)			404,000	0	404,000	
Cx事例シンポジウム(関西)			404,000	0	404,000	
Cx事例シンポジウム(中部)			15,000	0	15,000	
総会付帯講演会	40,000		25,000	0	-15,000	
技術交流会	200,000		230,000	0	30,000	
Cx 集い	200,000		200,000	0	0	
認証検討委員会	200,000		200,000	0	0	
小計	3,053,200		2,833,000	0	-220,200	
2. 普及事業					0	
ホームページ	380,000		1,150,000	0	770,000	
コミッショングラターの発行	200,000		200,000	0	0	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	80,000		180,000	0	100,000	
CxF登録制度小委員会	200,000		100,000	0	-100,000	
企画・運営委員会及び広報担当	754,320		310,000	0	-444,320	
小計	1,614,320		1,940,000	0	325,680	
3. 研究・支援事業					0	
海外調査	182,800		182,800	0	0	
技術委員会	200,000		200,000	0	0	
小計	382,800		382,800	0	0	
4. 基準制定事業						
京都駅ビルCx事業(施工)	21,800,000		5,747,000	0	-16,053,000	
京都駅ビルCx事業 (機能性能試験)			19,694,000	0	19,694,000	
沖縄科学技術大学院大学 事業委員会	50,000		50,000	0	0	
マニュアル改訂	3,000,000		3,000,000	0	0	
小計	24,850,000		33,641,000	0	8,791,000	
5. その他		150,000	100,000	150,000	100,000	
事業費計	29,900,320	150,000	38,896,800	150,000	8,996,480	
2 管理費						
旅費交通費	180,000		240,000	0	60,000	
通信運搬費	150,000		182,000	0	32,000	
消耗品費	150,000		30,000	0	-120,000	
消耗什器備品	150,000		340,000	0	190,000	
会議費	66,960		188,000	0	121,040	
印刷製本費	25,000		55,000	0	30,000	
租税公課	440,000		440,000	0	0	
支払手数料	70,000		70,000	0	0	
雑費	0		0	0	0	
諸会費	0		45,000	0	45,000	
家賃	712,800		400,000	0	-312,800	名古屋家賃減
修繕費	0		0	0	0	
予備費	0		0	0	0	
支払報酬	388,800		518,400	0	129,600	
事務外注費	5,508,000		3,888,000	0	-1,620,000	基盤整備費用減
減価償却費	100,000		350,000	0	250,000	
管理費計	7,941,560		6,746,400	0	-1,195,160	
経常費用計	37,841,880	150,000	45,643,200	150,000	7,801,320	
当期経常増減額	-2,027,380	150,000	1,336,420	150,000	3,363,800	
III 経常外収益						
1 固定資産売却益	0		0	0	0	
経常外収益計	0		0	0	0	
IV 経常外費用						
1 過年度損益修正損	0		0	0	0	
経常外費用計	0		0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	-2,027,380		1,336,420	150,000	3,363,800	
法人税、住民税及び事業税	71,000		71,000	0	0	
当期正味財産増減額	-2,098,380		1,265,420	0	3,363,800	
前期繰越正味財産額	29,485,706		35,354,000	1,001	5,868,294	
次期繰越正味財産額	35,355,001		36,690,420	151,001	1,486,420	

第3号議案「役員の改選に関する事項」

1. 理事再任に関する事項

再任理事 赤司泰義君
再任理事 大森一郎君
再任理事 岡 敦郎君
再任理事 熊谷雅彦君
再任理事 鯉淵 正君
再任理事 須山喜美君
再任理事 高瀬知章君
再任理事 柳原隆司君
再任理事 山羽 基君
再任理事 吉田新一君
再任理事 吉田治典君

以上、11名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の理事に再任する。

2. 理事の新任に関する事項

新任理事 岡本利之君

推薦の理由 特定非営利活動法人建築設備コミッション協会理事会よりの推薦

岡本利之君の略歴

昭和43年12月15日生、 現職 大阪ガス株式会社都市圏エネルギー営業部
第一チーム マネージャー

3. 監事再任に関する事項

再任監事 高草 智君
再任監事 高橋直樹君

以上2名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の監事に再任する。

BSGA 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>